

令和5年度当初予算案主要事項（令和4年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	次世代型学力・学習状況調査事業費	新規・継続の別		継続	
		国庫	起債	その他	一般財源
予算額	46,614千円 〈債務負担行為32,000千円〉	—	—	—	46,614
事業内容	<p>1 目的 府学力診断テストをCBT^(※1)化するとともに、児童生徒一人一人の学力の伸びが把握可能になるIRT^(※2)の手法及びパネルデータ^(※3)の活用により、学力向上につなげる学力・学習状況調査を府内すべての小・中・義務教育学校等で実施</p> <p>※1 <u>Computer Based Testing</u> : コンピュータやタブレットを用いて行うテスト方式</p> <p>※2 <u>Item Response Theory</u> : 問題や受験者が異なる場合であっても、問題の難易度をものさしとして調査結果を比較可能にする理論（TOEFLや英検等で活用）</p> <p>※3 <u>パネルデータ</u> : 児童生徒一人一人の変化を継続的に把握する手法</p>				
（目的 対象 方法等）	<p>2 内容 拡充 令和4年度までに実施した実証研究^(※4)を踏まえた学力・学習状況調査を府内すべての小・中・義務教育学校等で実施することにより、学力の伸びと非認知能力の変容を効率的・効果的に把握し、課題に対する様々な指導を実現する。 また、令和6年度の実施に向けた問題作成等を実施</p> <p>※4 「IRT・パネルデータ」と「CBT」を組み合わせた学力・学習状況調査の実証研究</p>				
担当課名	学校教育課 指導第1係	電話番号	075-414-5833		